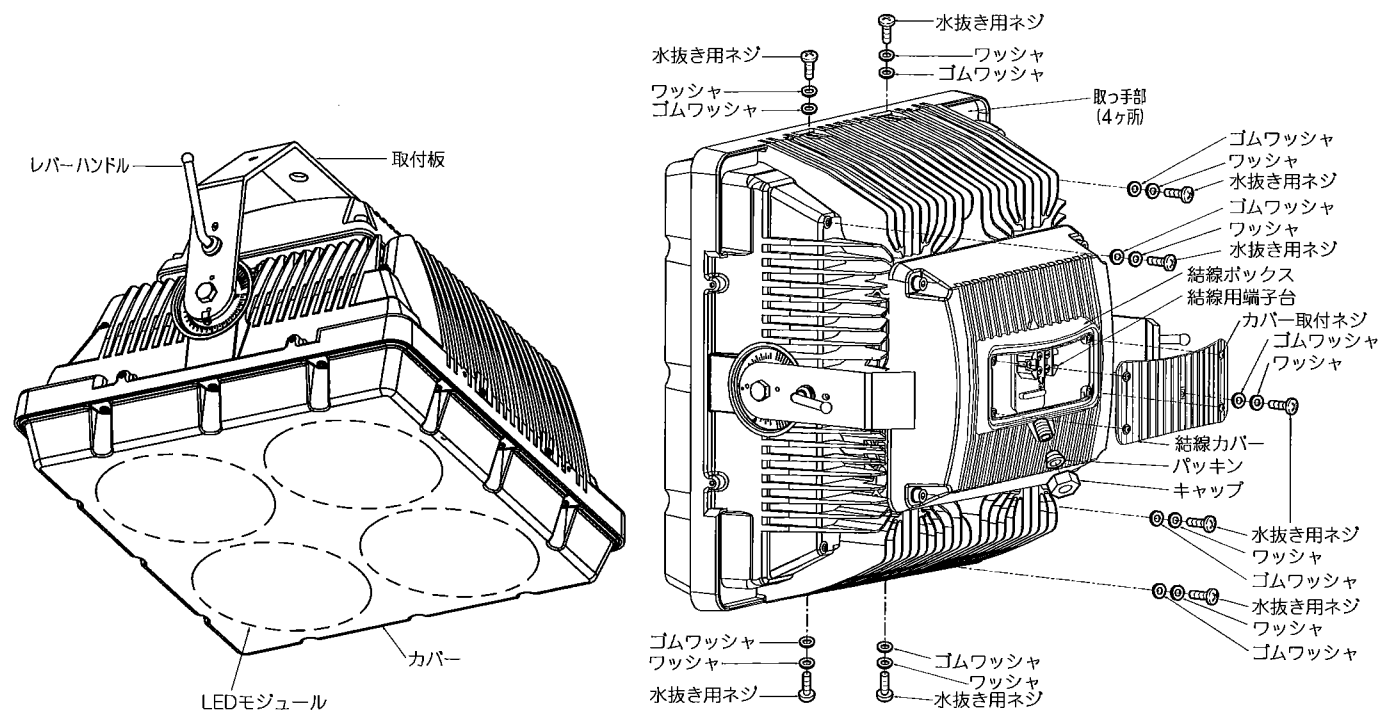
【型番】ERG5292S,ERG5293S,ERG5294S,ERG5295S,ERG5298S,ERG5299S,ERG5300S,ERG5301S

◆各部の名称

この図は一部省略抽象した共通部品図です

◆仕様

区分	型番	ランプ色	配光	定格電圧	周波数	入力電圧	入力電流	消費電力
37000タイプ	ERG5292S	昼白色タイプ	広角	AC100V-242V	50Hz/60Hz	100V	3922mA	384.4W
	ERG5293S	ナチュラルホワイトタイプ				200V	1954mA	371.2W
	ERG5294S	昼白色タイプ	拡散			242V	1701mA	370.4W
	ERG5295S	ナチュラルホワイトタイプ						
30000タイプ	ERG5298S	昼白色タイプ	広角			100V	3196mA	313.2W
	ERG5299S	ナチュラルホワイトタイプ				200V	1609mA	305.7W
	ERG5300S	昼白色タイプ	拡散			242V	1400mA	305.0W
	ERG5301S	ナチュラルホワイトタイプ						

◆使用上のご注意

・LED光源を直視しないでください。
・前面カバーが破損した場合、必ず器具交換を行ってください。

⚠ 風速60m/s超える場所では使用しないでください。落下の原因になります。

◆LED光源について

・LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べバラツキがあるため発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。
・LEDモジュールの交換はできません。

◆無線調光タイプの製品について

・詳細はSmart LEDZ system 各製品の取扱説明書を参照ください。
※通信距離は設置環境により異なる場合がありますのでご了承ください。

⚠ 3年以上お使いいただいた器具は、安全のため器具・コードなど1年ごとに点検をし、異常があれば交換してください。

■清掃方法について

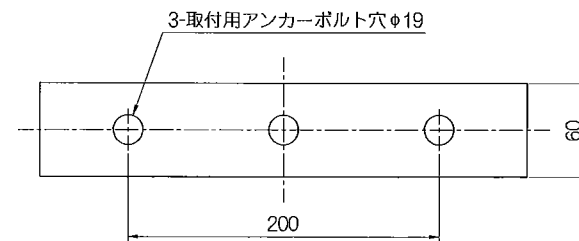
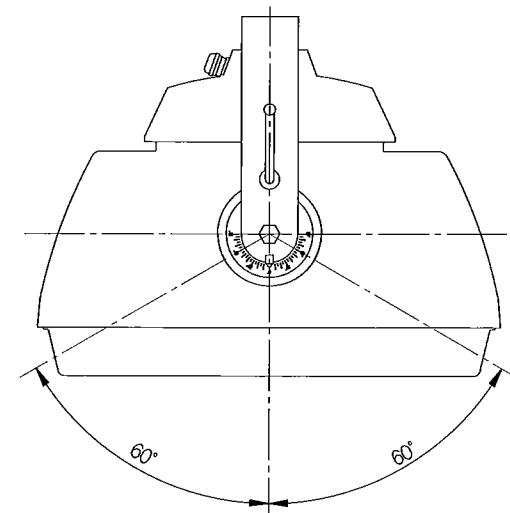
⚠注意　必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

●中性洗剤をつけ、よく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
●シンナーやベンジンなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

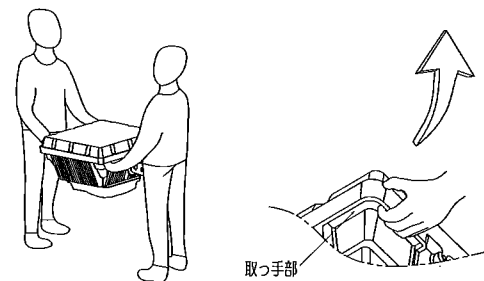
●電源工事が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。

アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買上げの販売店か、最寄営業所へお問い合わせください。

ERG5292S-T

◆取付寸法

◆可動範囲

⚠ 指定範囲以外可動させないでください。破損・落下・感電の原因となります。

◆取付方法

1．器具を梱包から取り出してください。

⚠ この商品は重量物です。運搬や設置するときは、2人以上で持ち運びしてください。持ち運びには器具の取っ手部を利用してください。器具が落下した場合、器具故障の原因になります。

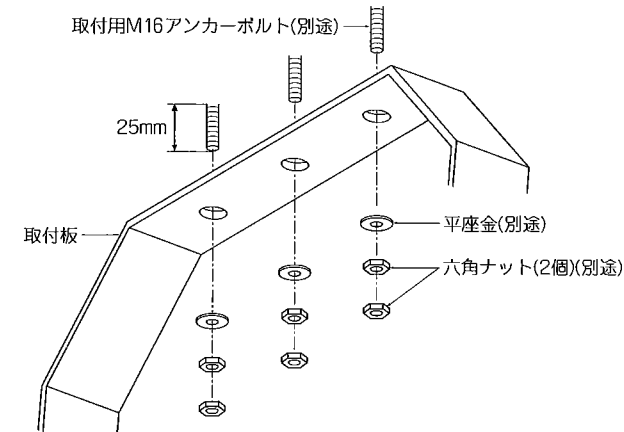
2．安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。

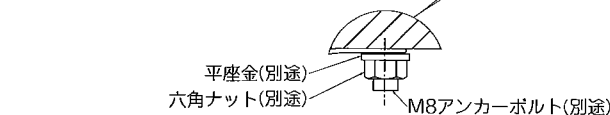
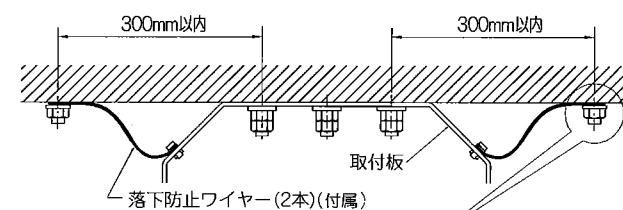
⚠ 感電の原因となります。

3．器具重量に耐える様、取付面の強度を確保してください。

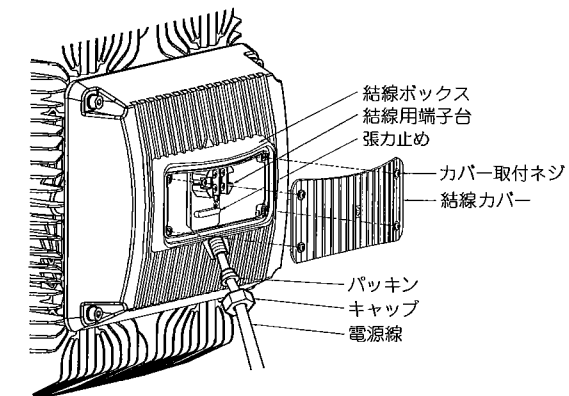
⚠ 取付部の強度が不十分な場合、器具落下・破損等の原因となります。

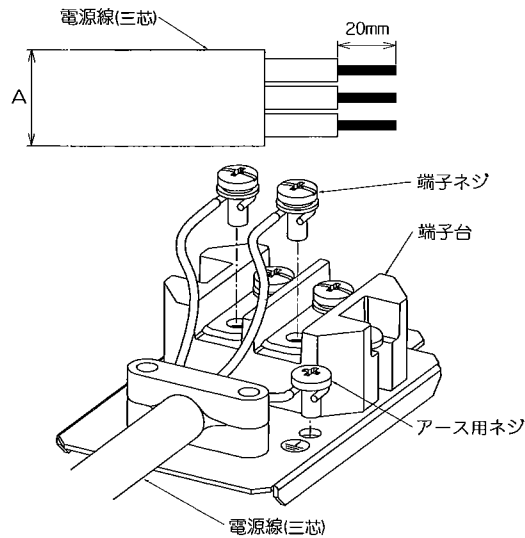
⚠ この商品は重量物です。運搬や設置するときは、2人以上で持ち運びしてください。持ち運びには器具の取っ手部を利用してください。

4．取付板を取付けてください。
●取付用M16アンカーボルト、六角ナット(2個)、平座金(ステンレス製)は別途ご用意ください。
●指定の位置にアンカーボルトを施工してください。
●取付板の取付穴にアンカーボルトを通し、平座金、六角ナット(2個)で確実に締め付け取付けてください。

⚠ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。

5．落下防止ワイヤーをM8アンカーボルトに通し、平座金、六角ナットで確実に締め付け取付けてください。

⚠ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。

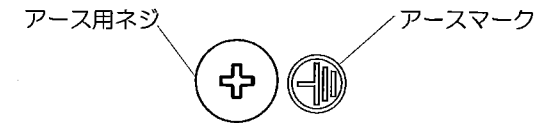
6．カバー取付ネジ(4個)をゆるめ、カバーを結線ボックスからはずしてください。

7．キャップ、パッキンをはずし、電源線をキャップ、パッキン、結線ボックスに通し、キャップを確実に締め付け固定してください。電源線(三芯)のキャブタイヤケーブルを張力止めで固定してください。

⚠ 締め付けが不完全ですと、浸水による漏電・器具故障の原因となります。

8．電源線を端子台に接続してください。同時にアース線はD種接地工事を行ってください。
●電線はストリップゲージ長20mmにむいてください。
●電源線を端子ネジに巻き付けてから、端子台に確実に締めてください。
●アース線はD種接地工事を行ってください。
※電源線は三芯仕様、外径（下図A寸法）はφ8〜φ12㎜、芯線は1.25㎜^{2}以上のキャブタイヤケーブルを使用してください。

⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

⚠ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

※D種接地工事について
アースマーク（下図）が付けられている箇所のネジにアース線をつないでください。

アース用ネジ　アースマーク

⚠ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

9．カバーを結線ボックスに合わせて、カバー取付ネジ(4個)で確実に取付けてください。

⚠ 取付けが不完全ですと、浸水による漏電・器具故障の原因となります。

10．水抜き用ネジ(1個)、ワッシャ(1枚)、ゴムワッシャ(1枚)を取外して水抜き穴を確保してください。
※水抜き穴は、本体に9ヶ所あります。取付方向や照射位置の調節角度より、最下部の水抜き穴を確保してください。

⚠ 水抜き穴を必ず確保してください。漏電・感電・器具故障の原因になります。

◆照射角度の調整

1．照射角度の調整は、表面図の取っ手部で器具をしっかりと支えながらハンドル（2箇所）を緩め、ゆっくりと器具の照射角度に合わせてください。しっかりと支えていない場合、器具が急に回転し破損、けがの原因となります。

2．照射角度調整後、ハンドル（2箇所）をしっかりと締付けてください。

⚠ 締付けが不十分な場合、投光器の落下による事故の原因となることがあります。

3．照準器による照射角度の調整をご希望の場合は、最寄の弊社営業所までお問い合せください。